

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公開番号】特開2009-96022(P2009-96022A)
【公開日】平成21年5月7日(2009.5.7)
【年通号数】公開・登録公報2009-018
【出願番号】特願2007-268355(P2007-268355)
【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被記録媒体の搬送方向に移動する搬送面を形成する搬送ベルトと、
前記搬送ベルトに設けられ、被記録媒体の搬送方向に沿って被検出要素が配列されて成る被検出部と、
前記搬送ベルトの移動に伴い前記被検出要素を検出し、その検出レベルに応じた波形信号を出力する検出部と、
前記波形信号を第 1 閾値に基づき二値化して第 1 デジタル信号を出力する第 1 デジタル信号出力部と、
前記第 1 デジタル信号に基づき被記録媒体への記録動作を実行する記録手段と、
前記波形信号を前記第 1 閾値より絶対値の高い第 2 閾値に基づき二値化して第 2 デジタル信号を出力する第 2 デジタル信号出力部と、
前記第 2 デジタル信号に状態変化が生じているか否かを判定する判定部と、
を備えたことを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の記録装置において、前記記録手段は、前記判定部により前記第 2 デジタル信号に状態変化が生じていないと判定され、前記第 1 デジタル信号に状態変化が生じていると判定された状態では、実行中の被記録媒体への記録を継続する、
ことを特徴とする記録装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の記録装置において、前記被検出部をクリーニングするクリーニング手段を備え、
前記クリーニング手段を制御する制御部が、前記判定部により前記第 2 デジタル信号に状態変化が生じていないと判定されると、実行中の被記録媒体への記録を完了した後に、前記クリーニング手段を制御して前記被検出部のクリーニングを実行する、
ことを特徴とする記録装置。

【請求項 4】

請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載の記録装置において、前記判定部は、ラッチ信号を受信することにより出力信号を High または Low にラッチするラッチ回路と、
前記第 2 デジタル信号の立ち上がりエッジによりクロックに同期したカウントダウンを

開始し、及び立ち下がリエッジによりクロックに同期したカウントアップを開始し、或いは、立ち上がりエッジによりクロックに同期したカウントアップを開始し、及び立ち下がリエッジによりクロックに同期したカウントダウンを開始し、カウント値が最大値を上回った場合、及びカウント値が最小値を下回った場合に、前記ラッチ回路へラッチ信号を出力するアップダウンカウンタと、

前記カウント値の最大値及び最小値を指定する為のデータの入力を受け付けるカウント値データ入力部と、

を備えたことを特徴とする記録装置。